

広島市江波山気象館指定管理者の業務実施状況（平成28年度）の概要・評価

1 施設名及び指定管理者等

(1) 施設名及び所在地	広島市江波山気象館（広島市中区江波南一丁目40番1号）
(2) 指定管理者等 （非公募により選定）	(1) 名称及び所在地 公益財団法人広島市文化財団 （広島市中区加古町4番17号） (2) 指定期間 平成26年4月1日～平成30年3月31日 (3) 指定管理料の限度額（4年間分） 3億5,542万1千円

2 実地調査の実施状況

区分	内容
実施年月日	平成29年3月14日（火）
実施内容	業務実施状況の確認、職員へのヒアリングを行った。

3 業務の実施状況

平成28年度の状況		市の評価
(1) 管理業務の実施状況		
ア 市民の平等利用の確保策の実施状況		○
(ア) 広島市江波山気象館条例等関係法令を遵守し、理由もなく市民の施設利用を拒んだり、不当な取扱いが生じないよう、研修等により、職員に周知徹底を図り、市民の誰もが平等に利用できるように対応している。 (イ) 施設の利用案内等の情報をホームページ等により提供している。		
イ 事業の実施状況		○
次の事業を主に実施している。 (ア) 天気予報（市内の気象予報、気象解説、気象観測データの提供） (イ) 企画展示（「迷路の館へようこそ」「見えるふしぎ 見えないふしぎ」） (ウ) 常設展示（気象に関する資料の展示、風や雲の体験ブース等） (エ) 教育普及事業（サイエンスショー、サイエンスワークショップ、団体向け教育普及事業、ネイチャーサイエンス、「移動科楽館」、気象記念日イベント、気象に関する講演会等） (オ) 相談事業（夏休み自由研究相談&工作教室、お天気相談） (カ) ボランティア等の育成（ボランティア育成・活動機会の提供、博物館実習・インターンシップ等の受け入れ）		
ウ 維持管理業務等の実施状況		○
次の業務を実施している。 (ア) 江波山気象館への入館の制限に関すること。 (イ) 江波山気象館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (ウ) その他教育委員会が定める業務		

平成28年度の状況				市の評価
(2) 指定管理料等の収支状況				○
ア 平成28年度の状況				
区分	計画 (ア)	実績 (イ)	差引 (イ) - (ア)	
収入 (a)	8,974万4千円	9,202万9千円	228万5千円	
指定管理料	8,780万5千円	8,780万5千円	0千円	
利用料金	121万3千円	155万4千円	34万1千円	
その他	72万6千円 前年度繰越金(0千円) 負担金収入等(2万6千円) 繰入金(70万円)	267万円 前年度繰越金(48万7千円) 負担金収入等(0千円) 繰入金(218万3千円)	194万4千円 前年度繰越金(48万7千円) 負担金収入等(△2万6千円) 繰入金(148万3千円)	
支出 (b)	8,974万4千円	9,202万9千円	228万5千円	
差引 (a) - (b)	0千円 次年度繰越金(0千円)	0千円 次年度繰越金(0千円)	0千円 次年度繰越金(0千円)	
イ 特記事項 指定管理料と利用料金の合計では賄えない支出については、前年度繰越金及び同じ指定管理者が管理する施設からの繰入金等により対応しており、運営に支障は生じていない。				
(3) その他				
ア 利用者ニーズの把握及びそれを踏まえた管理運営の実施状況（指定管理者によるアンケートの実施等） 企画展、教育普及事業等においてアンケート調査を実施し、利用者ニーズを踏まえた事業・管理運営ができるように努めている。				○
イ 個人情報保護への対応状況 個人情報保護規程、個人情報保護取扱要領及び個人情報取扱マニュアルを作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
ウ 情報公開の実施状況 情報公開規程及び情報公開実施要領を作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
エ 緊急事態、不法行為等への対応状況（防災、防犯などの安全対策を含む。） 自衛消防隊を組織するほか、危機管理マニュアルを作成し、職員への周知徹底を図ることにより、利用者の安全対策や緊急事態への適切な対応を行っている。				○
オ 苦情・要望への対応状況 「苦情対応マニュアル」を作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
カ 配置人員及び職員研修の実施状況等 (ア) 配置人員（4月1日現在） 7人（うち専門職員である学芸員（必置）6人） (イ) 職員研修の実施状況 接遇研修、救命講習会、倫理研修、人権研修、全国科学博物館協議会総会、地球温暖化講演会、庶務・経理研修等 (ウ) 労働基準法等の遵守状況 雇用契約、賃金計算、労働時間管理について、適正に実施しており、また、最低賃金額を順守している。				○
キ 自己評価の実施状況 評価基準を作成し、教室事業や企画展など、アンケート調査を実施し、それに基づき自己評価を実施している。				○
業務の実施状況の評価				A

4 施設の利用状況

平成28年度の状況				市の評価	特記事項
ア 利用者数等				A	
目標利用者数 (7)	利用者数実績 (イ)	差引 (イ) - (7)	達成率 (イ) / (7)		
5万6,900人	5万8,982人	2,082人	103.7%		
※ 前年度実績 5万6,493人 (増減率4.4%) ※ 参考：その他の利用者数等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 館外事業利用者数 10,502人 ・ ホームページ閲覧件数 32万1,651件 					
イ 利用促進策等の実施状況					
(7) 広報等の充実					
a 団体利用の促進を目的とした、団体ごとの個別のお天気教室・サイエンスショーの実施					
b ホームページによる気象情報発信、メールマガジンの配信					
(イ) 指定管理者の提案による取組					
a 開館日の拡大 8月6日に開館					
b 利用料金の設定					
(a) 指定管理者が認める割引券を提示した者の入館料について、団体料金と同額の割引料金を適用					
(b) 気象記念日（日曜日でないときは直近の日曜日）の全額減免					

5 利用者の満足度

アンケート調査の実施結果等	市の評価	特記事項
市と指定管理者が共同で実施したアンケート調査結果（標本数686件）では、サービス内容などの満足度については、満足が97.3%、不満が0.9%であった。	A	

6 評価

区分	市の評価	特記事項
評価（5段階評価）	5	親子で学び楽しめる企画展の開催や、団体向けのお天気教室・サイエンスショーを実施するなどの利用促進策を実施した結果、利用者数は目標利用者数を上回っている。 また、市のアンケートによる市民の満足度も高く、今後も引き続き適切な管理運営を行うよう指示した。
業務の実施状況	A	
施設の利用状況	A	
利用者の満足度	A	